

令和2年度かみふくおか作業所事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

はじめに

障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）へ移行12年目の事業は、令和2年度かみふくおか作業所事業計画に基づき実施しました。夏季の猛暑と大雨、新型コロナウイルス感染症への対応を図り、生産活動においては、前年に引き続き就労支援計画の見直しを図りました。

1 支援の充実について

(1) 作業支援について

今年度は、8つの作業内容（資源回収作業・古本販売作業・古着作業・缶つぶし作業・清掃受託作業・バザー・リユース品作業・受託等物品販売）を実施しました。新型コロナウイルス感染症により、自主規格イベントが年度間中止となりました。

ア. 作業について

(ア) 資源回収作業

利用者と地域との関わりを深め、他の作業量確保のため、作業所がある地域の約3,000世帯の方々のご協力で古紙などを定期的に回収させていただきました。今後は、リユース品回収への特化と、回収ルートを活用した商品販売の検討が課題です。（新型コロナウイルス感染症関係では、協力者への配慮と回収量と買取価格激減が問題化し、バザー品の回収方法が課題となりました。）

(イ) 古本販売作業

通販サイトへの出品関係では、希少性のある物品とイベント用の本の出品により、出品数の上限に達してしまい制限をかけられてしまいました。また、一方のサイトにはDVDやCDの出品をしました。新規古本提供協力者の開拓の検討を進めていますが、実効性のある事業展開を見出せていません。（新型コロナウイルス感染症関係では、イベント販売品の代替となる大型ネット通販サイトへの参加が急務の課題となってきました。）

(ウ) 古着販売作業

イベント中止により、一般古着の在庫収集を停止としました。

(エ) 缶つぶし作業

室外作業による寒暖対策と衛生安全への配慮、必要な備品整備に努めるとともに、利用者と支援員が注意事項等の確認をしました。また、冬季の回収量減への対応を図りました。

(オ) 清掃受託作業

地域との交流と社会参加を積極的に行なうことを念頭に置きながら利用者の健康の維持を目指しました。また、効率性を求め清掃用具の工夫に努力するとともに、作業手

順を明確にし、利用者の作業理解や積極性を図りました。

(カ) バザー・リユース品作業

イベント中止により、作業所前で小規模な無人による販売を1月から始めました。ネット販売への移行には古本同様の課題があります。

(キ) 受託等物品販売

川島町の農家からお米を仕入れ販売を行いました。米価の上昇による販売価格の検討を行いました。また、きょうされんの物品の販売価格の見直しを図りました。

(ク) 解体作業

アルミ缶類も古紙同様に回収量が減ってきたことから、パソコンや家電を解体し、金属種別の販売をおこないました。

イ. 就労支援計画の実施と検証について

今年度の利用者一人あたりの工賃平均月額は、29,472円(のべ利用月数228人)でしたが、利用者の住みなれた街で暮らすことに必要な経済的基盤の構築には程遠いため、更なる施設の工賃支払い能力スキルを上げることと経費削減の必要があります。(新型コロナウイルス感染症関係ではイベント中止と有価物買取価格減の影響により工賃変動積立金の一部取り崩しました。)

(2) 生活支援について

利用者が主体となって企画するために必要な力、会議の進め方などを継続的に発揮・向上できるように、様々な行事において実行委員会体制を用いて実施しました。今年度は利用者の選択する力や会議の経過の記録をとること、情報収集方法にメディア等媒体以外の知り合いから情報を得るといった新たな取り組みも始めました。また、エンパの会では、利用者の主体性を高める手段として出かける行事の内容を自己決定するために、社会生活に必要なスキルの学習や情報提供を行いました。また、グループホーム利用者のため、ホームと保護者との連絡体制を整えました。

ア みんなと楽しく食べられる食事の支援を心がけました。また、利用者の楽しみやお金、栄養バランス等の学習も兼ねた「ごちそうディ」を実施しました。

イ 送迎希望者に送迎を実施しました。また、自力通所の方には、通所路の安全確認や自転車の保守や保険の状況確認を行いました。(新型コロナウイルス感染症関係では密対策として2ルートを3ルートにしました。)

ウ 健康診断を実施しました。視力検査については、事前に利用者個々の状況に合わせた支援が必要です。また、インフルエンザ対策として、冬季の体調管理を進めました。(新型コロナウイルス感染症関係では、マスク手洗いや2mルールなど感染予防対策の実施を図りました。)

エ 利用者が主体となって企画する行事として、忘年会とレクリエーションに実行委員会を設置しました。

オ 普段生活している地域社会の中で、日常あまり経験出来ないことを楽しく経験することを目的にレクリエーションを実施しました。（新型コロナウイルス感染症関係では密対策として別企画を実施しました。）

2 円滑な運営と業務の推進について

- (1) 作業所での専門性を高めるため、職員個別の研修計画を策定し、計画的に研修を行いました。AED(自動体外式除細動器)の未受講職員の講習を受けました。
- (2) 施設・設備の整備等については、月に2度清掃重点日を設けました。
- (3) 市民への理解と協力を広げるため「作業所新聞『かみ★ふくおか』」を12回発行(通巻354号)、月3000部配布しました。また、SNSに作業所の出来事などを発信しました。
- (4) 火災の発生や地震における二次災害を防止するとともに、利用者及び職員の安全を確保し、併せて作業所の財産の保全を図るため、火災とインターネットを介した緊急地震速報を活用した地震に対する訓練と東日本大震災における対応等に関して、コロナ禍における作業所と自宅までの安全に関する検証及び緊急時送迎訓練を行いました。また、非常食の日を実施しました。
- (5) 職員の障害に関する知識と技術向上のため、自傷・他害行為や行動障害について利用者に即した支援内容の検討を継続して行いました。

3 利用者、家族との連携について

地域でのイベントには積極的に参加し、施設のアピールをするとともに、実行委員として会議等に出席し、利用者の社会性の獲得・社会経験をえられるように取り組みました。

- (1) 保護者会との連携に努め、支援法の更なる理解と障害者の地域生活のあり方や権利などについて学習をしました。
- (2) 個別支援計画を利用者、保護者と協働して見直しました。
- (3) 今年度は行事等の企画に関して、投票や絵図を使用するといった工夫を行うことで、利用者が主体となって行事を立案、実施しました。

4 地域との連携について

- (1) 地域の関連諸団体や関係施設との協力について
 - ア 上野台団地での定期的な資源回収やその他の地区の方々たちと繋がりを保っています。
 - イ 4名のグループホーム利用者が増え、一層の連携が必要となりました。
- (2) 特別支援学校、中学校及び学生の実習生を受け入れに協力をしました。
- (3) 地域の人々及び周辺の施設や団体と交流・関係をつくる機会を設定することを目指し、出張トトロの開催のための感染対策の検討をしました。

5 日中一時支援事業について

利用はありませんでした。

かみふくおか作業所業務報告
(令和2年 4月 1日～令和3年 3月31日)

1. 利用者の現況 (令和2年3月31日)

(1) 地域区分 (単位:人)

区分	富士見市	ふじみ野市	三芳町	その他	計
人数	0	21	1	1	23

(2) 障害の程度

	○A	A	B	C	非該当	合計
男性	7	9	1	0	1	18
女性	3	1	1	0	0	5
合計	10	10	2	0	1	23

(3) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	非該当	合計
男性	0	6	5	4	2	0	1	18
女性	0	1	1	1	1	0	1	5
合計	0	7	6	5	3	0	2	23

(注) 令和 2年 4月 1日現在の利用数 23名
 年間の退所者数 0名
 年間の入所者数 0名
 令和 3年 3月31日現在の利用数 23名

2. サービス利用状況

サービス	開所日数	のべ人数	1日の利用平均
就労継続支援B型	236日	4,816人	18.9人

3. 工賃支給状況

サービス名	平均工賃月額	支払人数
就労継続支援B型	29,472円	23人

4. 運営管理関係

4月 3日 個別支援計画策定会議
 17日 業務継続計画・就労支援計画の作成
 9月11日 消防避難訓練・非常食の日

- 8月20日 個別支援計画策定会議
- 10月 2日 消防設備点検
- 11月 1日 臨時職員採用

- 11月18日 交通安全管理者講習
- 3月 1日～ 個別支援計画策定会議
- 5日 消防訓練(送迎訓練) 非常食の日
- 27日 年度総括会議
- 定期職員会議 毎月第1金曜日
- 就労支援会議 毎月第3金曜日

4. 研修

- 4月 1日 感染症に関する内部研修
- 11月17日 埼玉ロボットビジネス交流会オンライン研修
- 26日 障害福祉情勢研修
- 3月30日 埼玉県虐待研修会オンライン研修

5. 支援関係

- 4月 1日 送迎・昼食・休憩時・手洗い等感染体制変更

出張トトロ・各種年間行事 中止 ごちそう DAY 毎月第2月曜日

6. 見学等の来所

- 3月11日 サービス等利用計画事業所見学

7. 地域関係

- 第3木曜日 きょうされん川越・入間東ブロック会議

8. 実習生関係

- 2月27日～ 山村短期大学 2名

9. 保護者関係

- 2月16日～ 個別支援計画面談

10. ボランティア関係

- くまのぷーさん 第3金曜日